

令和2年（2020年）8月13日

「狭山藩北条氏一狭山藩時代すごろく」を作成

大阪狭山市には、江戸時代に、戦国大名北条氏の末裔である北条氏が藩主となって治めた狭山藩がありました。

市教育委員会では、狭山藩とその藩主北条氏の魅力を市内外へ発信するため、パンフレット『狭山藩北条氏一狭山藩時代すごろく』を作成しました。このパンフレットは、子どもたちにも狭山藩北条氏の歴史をわかりやすく伝えられるよう、北条氏の解説のほか、狭山藩に関する事件や藩主の功績などをまとめたすごろくを記載しています。

パンフレットは、市役所歴史文化グループ、郷土資料館（狭山池博物館内）で配布しています。



【大阪狭山市と北条氏】

関東の雄と呼ばれ小田原城を拠点に活躍した戦国大名北条氏。豊臣秀吉との小田原合戦のち、北条氏は滅亡したと思われがちですが、その末裔は現在の大阪狭山市に陣屋を構え、江戸時代を通じて狭山藩主を務めました。狭山藩歴代の藩主は学問にも熱心で、藩校として設立された簡修館では、藩士の子もだけでなく、広く地域の子もを受け入れて教育を施すなど、地域を大切にす藩政を行いました。

狭山藩は、明治維新まで12人の藩主が時代の流れに翻弄されながらも江戸時代を生き抜き、一度も転封されることなく狭山のお殿さまを務めあげました。現在の大阪狭山市では、北条氏の家紋であるミツウロコが市立東小学校の校章となっているなど、ところどころにその足跡を見ることができます。